

# 医療保険制度における 新型コロナウイルス感染症の影響について

# 医療費の動向 令和2年4月～6月

医療費の動向（メディアス）の月次報告については、通常、厚生労働省のホームページ上での公表としているが、令和2年4月～6月は新型コロナウイルス感染症の影響により患者の受診動向等に大きな変化があったと考えられることから、その一部をご報告するもの。

- 令和2年4～6月の医療費の伸び（対前年同月比）を見ると、4月に▲8.8%、5月に▲11.9%と10%程度の減少となったが、6月は▲2.4%の減少に留まった。
- 診療種類別では、入院外、歯科の令和2年4月～5月の減少幅が大きい。
- とりわけ、未就学者の減少、医科診療所の小児科や耳鼻咽喉科の減少が大きく、都道府県間で減少幅の差異が見られた。

（参考）

入院	：	4月に-6.5%、5月に-10.1%、6月に-4.0%の減少
入院外	：	4月に-13.7%、5月に-15.4%、6月に-2.6%の減少
歯科	：	4月に-15.3%、5月に-15.8%、6月に-0.2%の減少
調剤	：	4月に-3.1%、5月に-8.7%の減少、6月に0.1%の増加

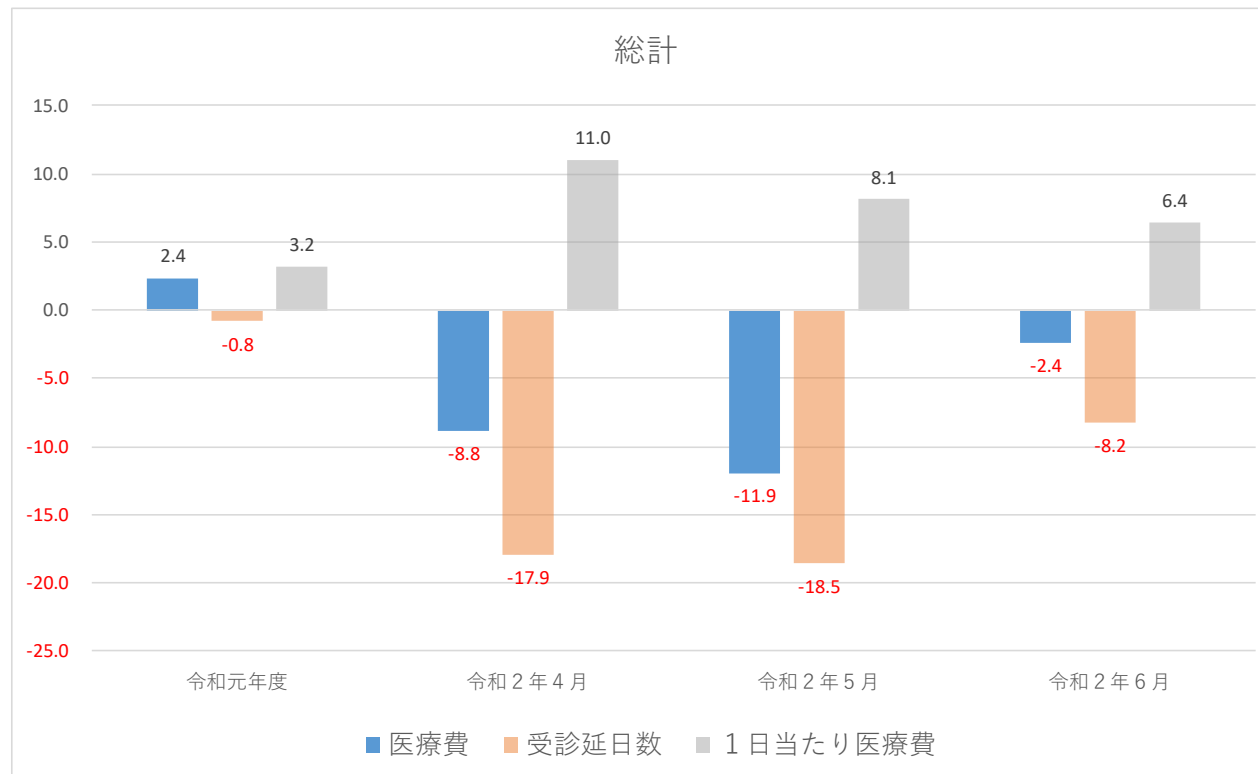
# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ①概算医療費

- 令和2年4～6月の医療費の伸び（対前年同月比、以下同じ）を見ると、4月に▲8.8%、5月に▲11.9%と10%程度の減少となったが、6月は▲2.4%の減少に留まった。
- 受診延べ日数の伸びは4～5月は▲18～19%程度減少となったが、6月は▲8.2%。
- 1日当たり医療費の伸びは4～6月を通じてプラスで推移。

■ 総計の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
医療費	2.4	-8.8	-11.9	-2.4
受診延日数	-0.8	-17.9	-18.5	-8.2
1日当たり医療費	3.2	11.0	8.1	6.4

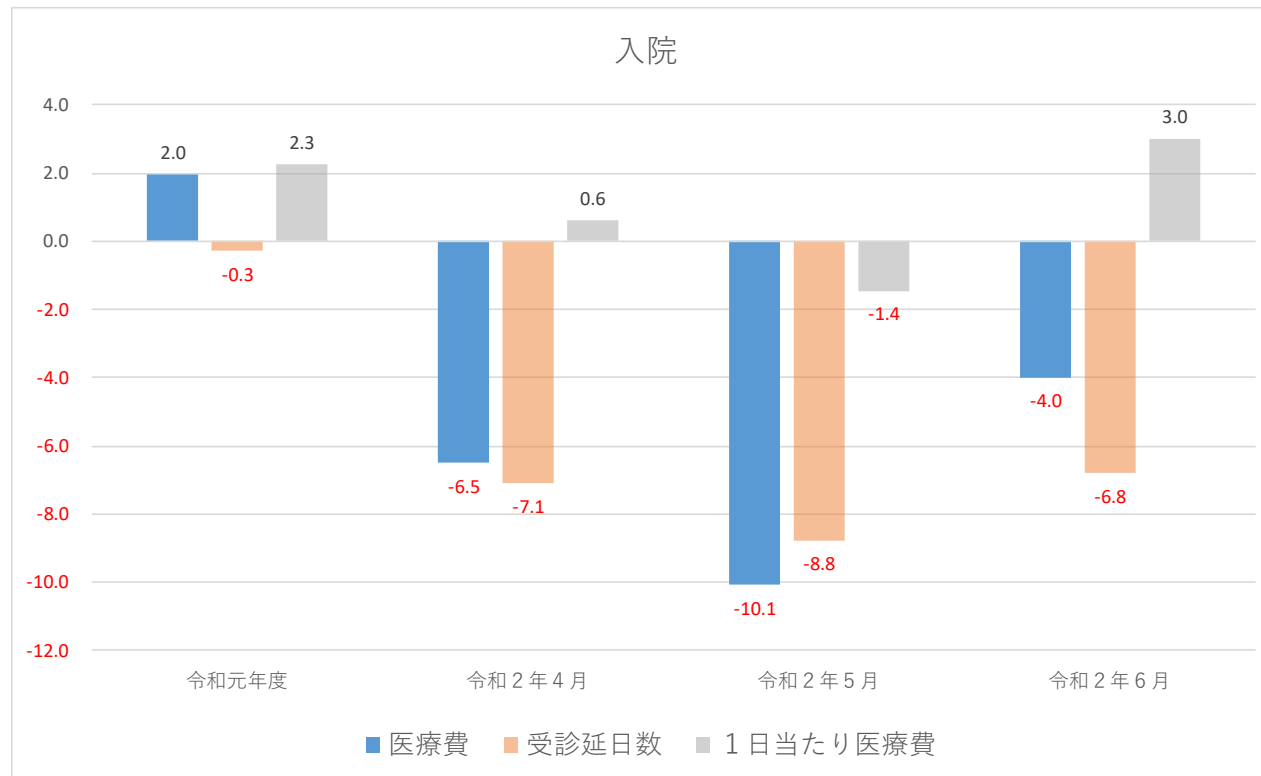


# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ②－1 診療種別（入院）

- 入院医療費は4月に▲6.5%、5月に▲10.1%、6月は▲4.0%の減少。
- 受診延べ日数の伸びは4～6月を通じて▲7～9%とマイナスで推移。1日当たり医療費は5月のみ減少している。

■ 入院の伸び率（対前年同月比） （単位：％）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
医療費	2.0	-6.5	-10.1	-4.0
受診延日数	-0.3	-7.1	-8.8	-6.8
1日当たり医療費	2.3	0.6	-1.4	3.0



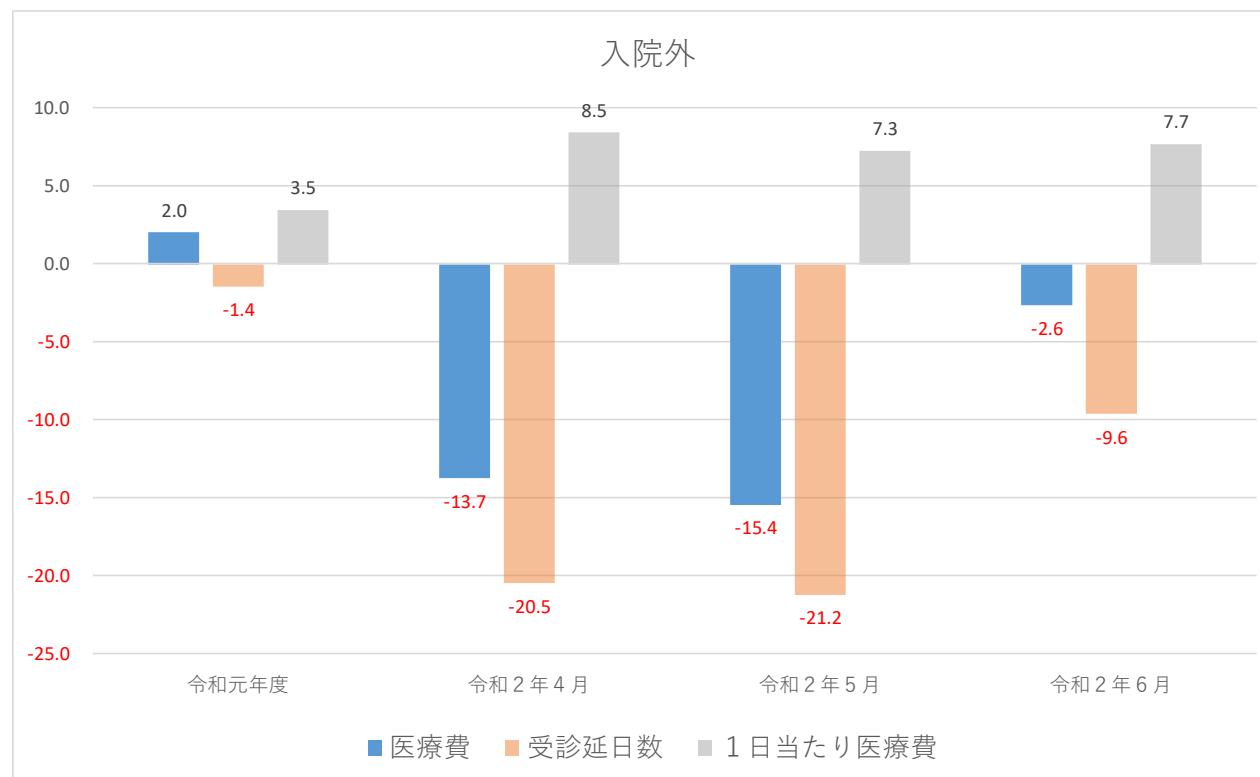
# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ②－2 診療種別（入院外）

- 入院外医療費は4月に▲13.7%、5月に▲15.4%と10%を超える減少となったが、6月は▲2.6%の減少に留まった。
- 受診延べ日数は4～5月は2割を超える減少となったが、6月の減少幅は1割程度。
- 1日当たり単価は4～6月を通じて7～8%程度の増加。

■ 入院外の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
医療費	2.0	-13.7	-15.4	-2.6
受診延日数	-1.4	-20.5	-21.2	-9.6
1日当たり医療費	3.5	8.5	7.3	7.7



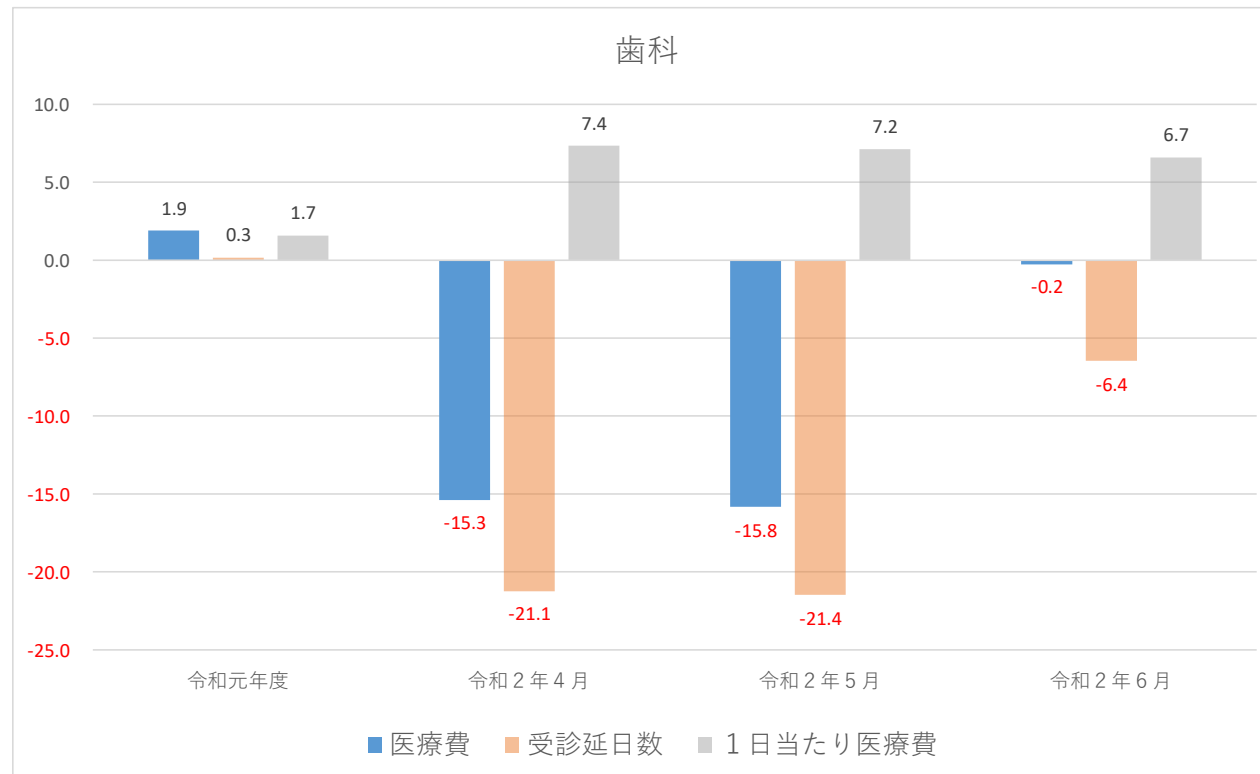
# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ②－3 診療種別（歯科）

- 歯科医療費は、4月に▲15.3%、5月に▲15.8%と10%を超える減少となったが、6月は▲0.2%の減少とほぼ前年並みとなった。
- 受診延べ日数は4～5月は2割を超える減少となったが、6月の減少幅は▲6.4%。
- 1日当たり単価は4～6月を通じて6～7%程度の増加。

## ■ 歯科の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
医療費	1.9	-15.3	-15.8	-0.2
受診延日数	0.3	-21.1	-21.4	-6.4
1日当たり医療費	1.7	7.4	7.2	6.7



# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ②－4 診療種別（調剤）

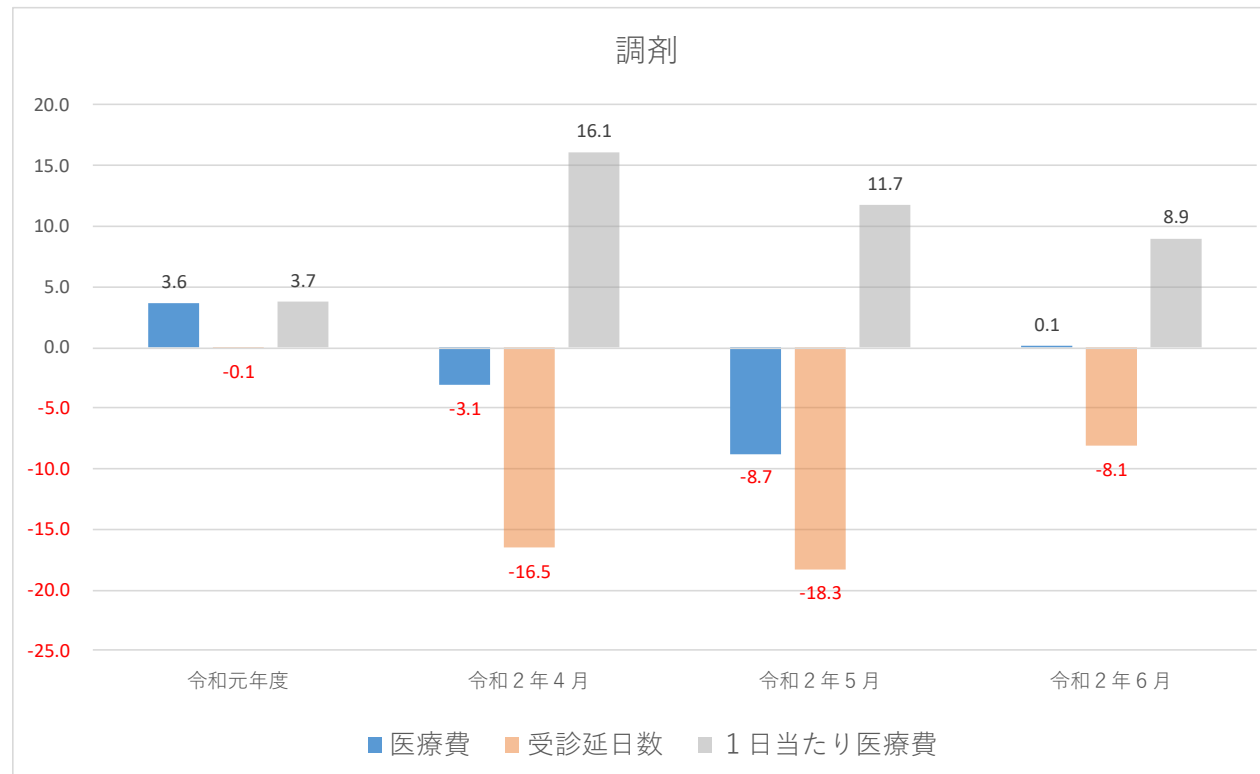
- 調剤医療費は、4月に▲3.1%、5月に▲8.7%と、他の診療種別に比べ減少幅は小さく、6月は+0.1%とほぼ前年並みとなった。
- 受診延日数は入院外と同様4～5月に大きな減少となったが、6月の減少幅は▲8.1%と縮小。
- 1日当たり医療費は4月に+16.1%と大きな伸びとなり、以降伸び率は低下傾向。

■ 調剤の伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
医療費	3.6	-3.1	-8.7	0.1
受診延日数※	-0.1	-16.5	-18.3	-8.1
1日当たり医療費	3.7	16.1	11.7	8.9

※受診延日数は「処方せん枚数（受付回数）」を集計したもの

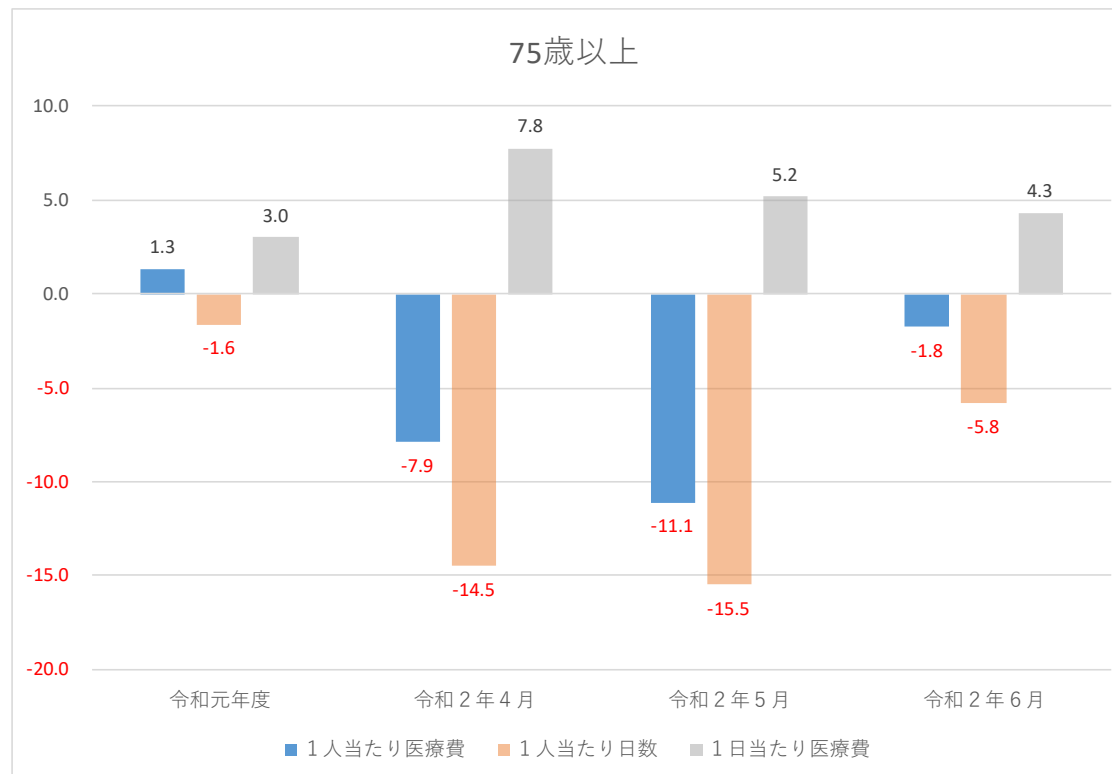


# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ③－1 75歳以上の状況

○ 4月～6月の医療費の減少幅、受診日数の減少幅、1日当たり医療費の増加幅は、75歳未満と比べ小さい。

■ 75歳以上の医療費の伸び率（対前年同期比）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
1人当たり医療費	1.3	-7.9	-11.1	-1.8
1人当たり日数	-1.6	-14.5	-15.5	-5.8
1日当たり医療費	3.0	7.8	5.2	4.3



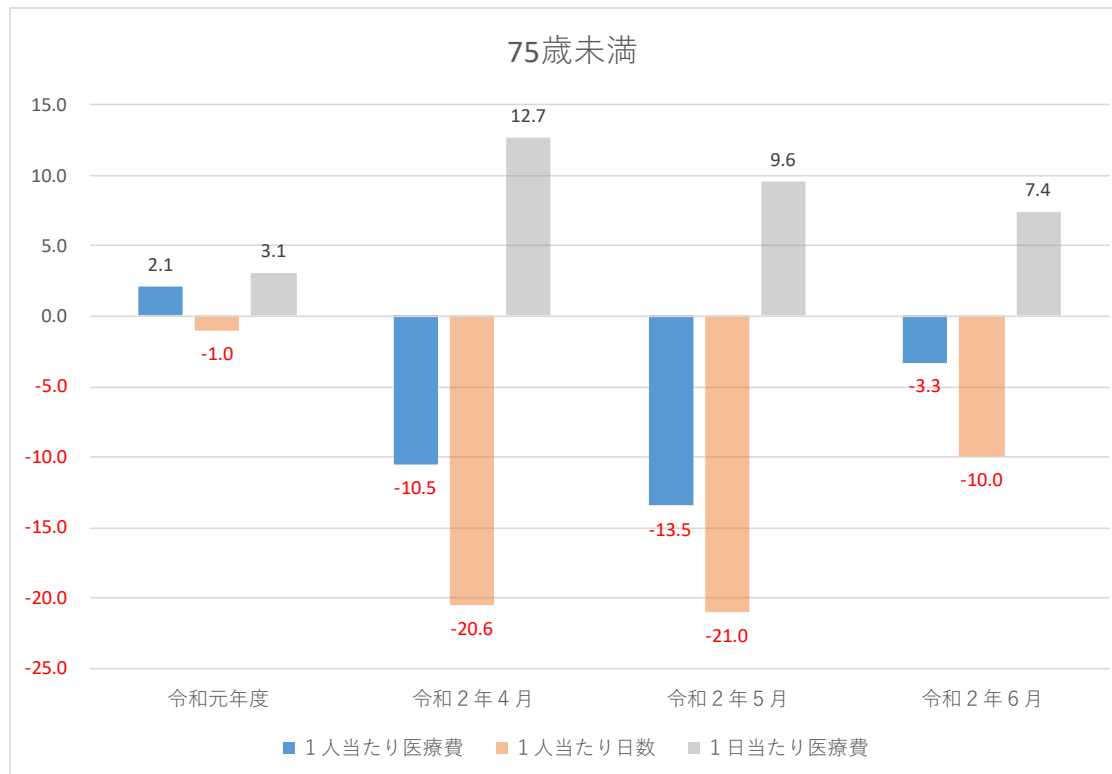


# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ③－2 75歳未満の状況

○ 4月～6月の医療費の減少幅、受診日数の減少幅、1日当たり医療費の増加幅は、75歳以上と比べ大きい。

■ 75歳未満の医療費の伸び率（対前年同期比）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
1人当たり医療費	2.1	-10.5	-13.5	-3.3
1人当たり日数	-1.0	-20.6	-21.0	-10.0
1日当たり医療費	3.1	12.7	9.6	7.4

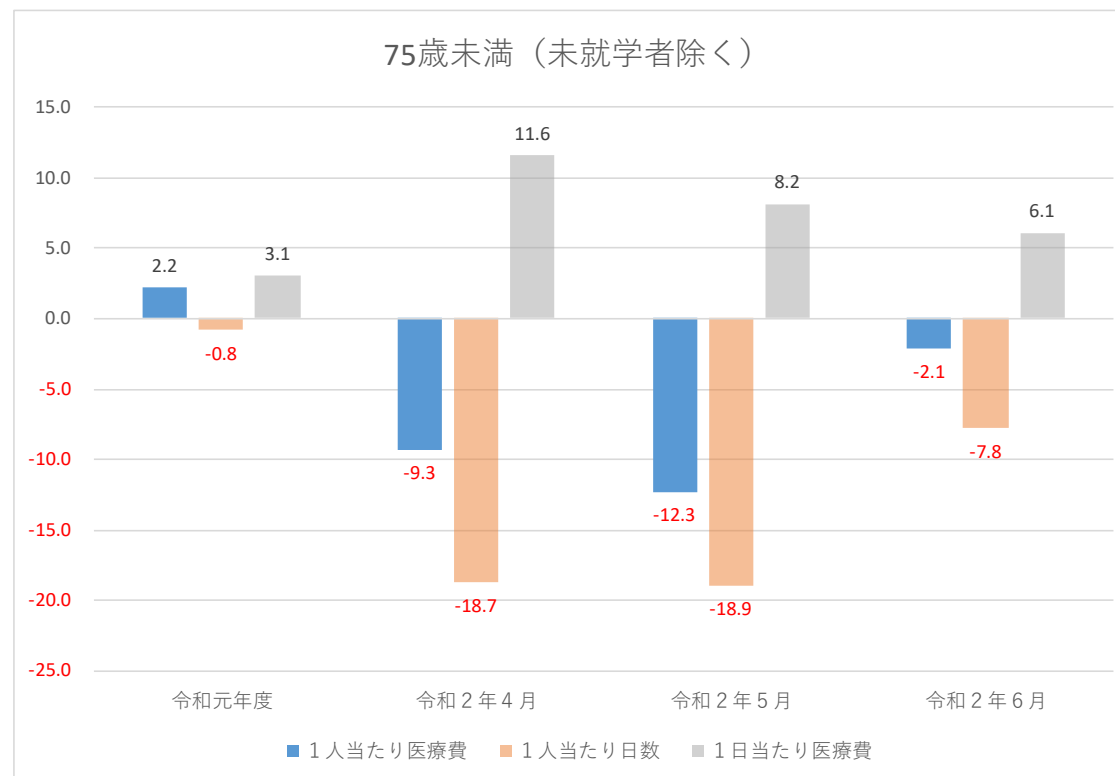


# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ③－3 75歳未満（未就学者除く）の状況

○ 未就学者を除くと、医療費の減少幅、受診日数の減少幅、1日当たり医療費の増加幅は小さくなる。

■ 75歳未満（未就学者除く）の医療費の伸び率（対前年同期比）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
1人当たり医療費	2.2	-9.3	-12.3	-2.1
1人当たり日数	-0.8	-18.7	-18.9	-7.8
1日当たり医療費	3.1	11.6	8.2	6.1

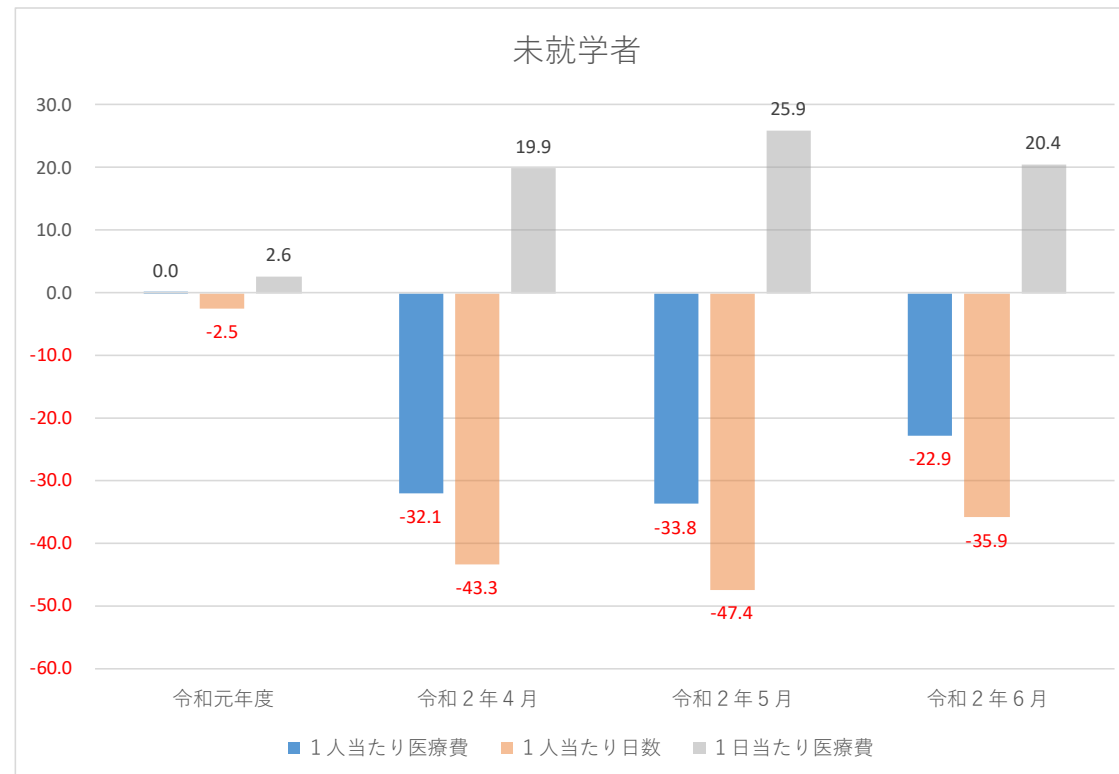


# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ③-4 未就学者の状況

○未就学者については受診日数が大きく減少している。1日当たり医療費は増加しているものの、医療費としても4～6月に渡って大きく減少している。

■ 未就学者の医療費の伸び率（対前年同期比）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
1人当たり医療費	0.0	-32.1	-33.8	-22.9
1人当たり日数	-2.5	-43.3	-47.4	-35.9
1日当たり医療費	2.6	19.9	25.9	20.4



# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ④診療科別の状況

○入院外について、医科診療所の主たる診療科別の伸び率を見ると、他の診療科に比べ、小児科・耳鼻咽喉科の減少幅が大きい。

■ 伸び率（対前年同月比）

（単位：％）

	医療費				受診延日数				1日当たり医療費			
	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
医科診療所	0.8	▲16.3	▲15.7	▲ 4.2	▲ 1.3	▲21.0	▲20.4	▲10.0	2.1	6.0	5.9	6.4
内科	0.4	▲11.6	▲12.1	▲ 2.4	▲ 1.7	▲15.6	▲18.0	▲ 8.8	2.1	4.8	7.1	7.0
小児科	0.1	▲38.4	▲44.9	▲31.9	▲ 2.2	▲42.8	▲51.1	▲40.1	2.3	7.8	12.6	13.6
外科	▲ 1.3	▲18.5	▲17.2	▲ 7.7	▲ 4.6	▲21.3	▲20.3	▲11.6	3.5	3.6	3.8	4.3
整形外科	1.8	▲18.3	▲14.9	▲ 1.6	▲ 1.0	▲22.7	▲19.1	▲ 6.8	2.8	5.7	5.1	5.5
皮膚科	1.9	▲15.2	▲ 6.0	6.2	1.2	▲14.2	▲ 5.1	5.6	0.6	▲ 1.2	▲ 1.0	0.6
産婦人科	1.4	▲14.9	▲11.9	▲ 0.1	0.8	▲15.9	▲13.8	▲ 4.2	0.6	1.2	2.3	4.3
眼科	2.3	▲19.7	▲21.4	▲ 2.0	▲ 1.3	▲25.8	▲24.0	▲ 7.5	3.6	8.1	3.4	5.9
耳鼻咽喉科	▲ 2.7	▲42.6	▲40.1	▲28.5	▲ 4.3	▲42.3	▲41.5	▲33.8	1.7	▲ 0.6	2.4	8.0
その他	2.3	▲11.1	▲10.0	0.5	1.4	▲11.2	▲10.5	▲ 1.8	0.8	0.1	0.5	2.3

# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ⑤都道府県別の状況

○都道府県別に入院外の医療費の伸び率を見ると、減少幅が大きい県と小さい県で差異がある。

■伸び率（対前年同月比）

	医療費			
	令和元年度	4月	5月	6月
全国	2.0	-13.7	-15.4	-2.6
北海道	2.2	-10.9	-15.5	-0.4
青森県	1.2	-8.7	-11.8	0.2
岩手県	0.9	-6.5	-10.9	0.2
宮城県	1.7	-11.0	-14.3	-0.9
秋田県	1.2	-8.5	-10.7	1.1
山形県	0.8	-12.5	-15.3	0.1
福島県	0.9	-9.6	-14.8	-2.6
茨城県	1.6	-14.1	-14.9	-2.2
栃木県	2.5	-10.8	-14.4	-3.2
群馬県	1.6	-12.3	-14.5	-3.1
埼玉県	2.6	-16.3	-16.0	-3.6
千葉県	2.2	-15.5	-16.6	-4.3
東京都	2.9	-20.9	-19.5	-5.0
神奈川県	2.4	-16.9	-17.5	-5.0
新潟県	1.2	-8.9	-13.2	0.5
富山県	1.8	-11.9	-17.2	-2.3
石川県	1.4	-15.1	-17.8	-2.6
福井県	0.4	-17.7	-16.9	-1.2
山梨県	2.1	-13.0	-13.4	-1.3
長野県	1.9	-10.3	-13.9	-0.1
岐阜県	1.2	-14.4	-14.3	-2.1
静岡県	2.3	-8.3	-11.9	-0.3
愛知県	2.5	-12.2	-13.1	-1.3

	医療費			
	令和元年度	4月	5月	6月
全国	2.0	-13.7	-15.4	-2.6
三重県	1.2	-12.3	-14.4	-2.0
滋賀県	2.3	-14.2	-15.8	-3.2
京都府	1.8	-14.0	-15.9	-3.0
大阪府	2.1	-14.5	-15.9	-3.3
兵庫県	2.1	-15.6	-16.7	-3.2
奈良県	3.2	-11.1	-13.1	-2.3
和歌山県	0.9	-10.2	-11.8	-1.6
鳥取県	1.5	-7.6	-12.2	-1.7
島根県	1.8	-7.5	-12.5	1.3
岡山県	2.1	-8.7	-14.2	-0.9
広島県	1.7	-10.8	-14.8	-1.8
山口県	0.6	-10.8	-14.2	-2.3
徳島県	1.3	-8.5	-10.4	-0.3
香川県	1.2	-10.9	-13.4	-1.2
愛媛県	2.0	-11.8	-14.3	-2.6
高知県	0.1	-12.5	-14.3	-1.1
福岡県	1.7	-16.0	-17.1	-4.6
佐賀県	2.5	-10.0	-12.5	0.6
長崎県	1.1	-8.6	-12.4	-0.7
熊本県	1.0	-11.8	-14.4	-3.9
大分県	1.0	-12.2	-12.8	-0.5
宮崎県	2.0	-7.5	-9.5	1.2
鹿児島県	1.7	-7.2	-10.8	-0.2
沖縄県	4.2	-14.8	-19.1	-3.6

: 医療費の伸び率 上位10県（減少幅が小さい）  
 : 医療費の伸び率 下位10県（減少幅が大きい）

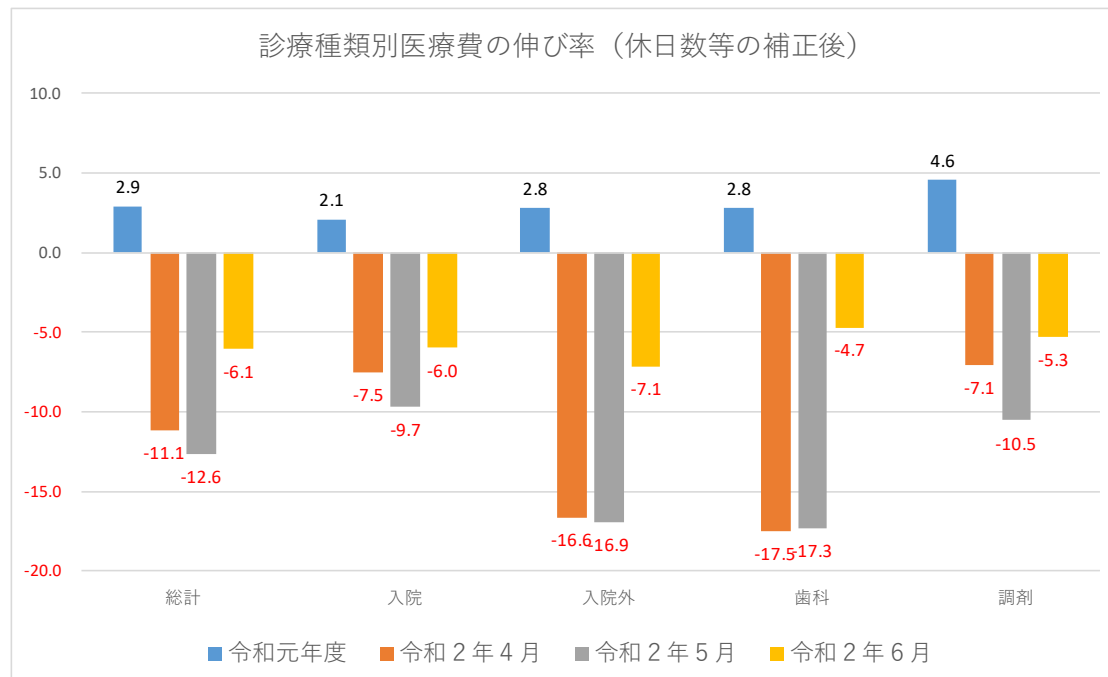
# 医療費の動向 令和2年4月～6月 ⑥休日数等の調整後の医療費の伸び率

○休日数等の調整後の医療費の伸び率を見ると、いずれの診療種類においても4月～5月と6月の減少幅の差は小さくなる。

■診療種類別医療費の伸び率（休日数等の補正後・対前年同期比）（単位：％）

	令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
総計	2.9	-11.1	-12.6	-6.1
入院	2.1	-7.5	-9.7	-6.0
入院外	2.8	-16.6	-16.9	-7.1
歯科	2.8	-17.5	-17.3	-4.7
調剤	4.6	-7.1	-10.5	-5.3

		令和元年度	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月
前年同期差 日	日曜・祭日等	+3	-1	-1	-1
	土曜	+2	0	+2	-1
	休日でない木曜	+1	+1	0	0



（参考）医療費の伸び率（対前年同月比）に対する休日数等の対前年同月差の影響補正係数（平成22年度～）

	日曜・祭日等	土曜	休日でない木曜
総計	-2.7	-1.0	-0.4
入院	-1.2	-0.8	-0.2
入院外	-3.5	-1.0	-0.6
歯科	-3.5	-1.0	-1.3
調剤	-4.2	-1.2	-0.2

注.

休日数等の影響を補正した医療費の伸び率は、平成16～21年度の各月の制度別等の1人当たり医療費の伸び率（診療報酬改定等及び閏日の影響を除く）を、日曜・祭日等（年末年始については、12月29日～1月3日を日曜として扱っている）の数、土曜日の数、休日でない木曜日の数、1定点当たりインフルエンザ報告数（国立感染症研究所感染症情報センター「サーベイランス」）、花粉症の影響を表すデータ（環境省花粉観測システムの観測地点・観測時別データの単純平均）の対前年同月差を説明変数として重回帰分析した結果を用いて補正したものである。

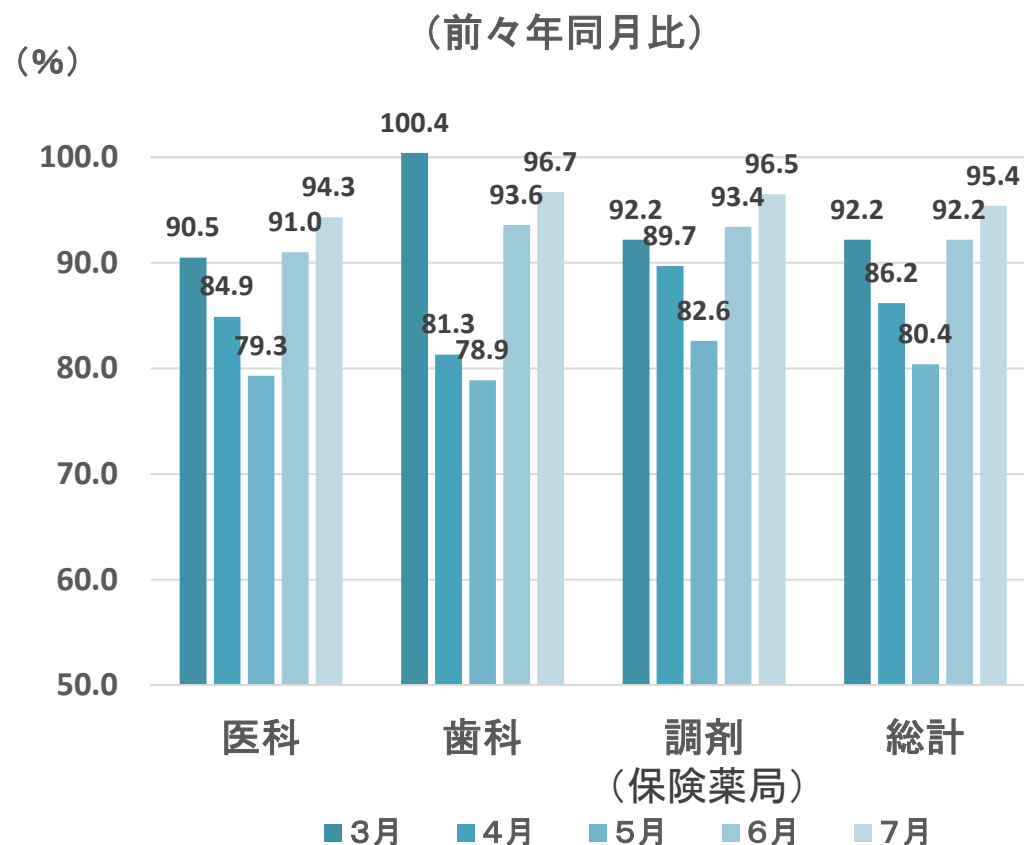
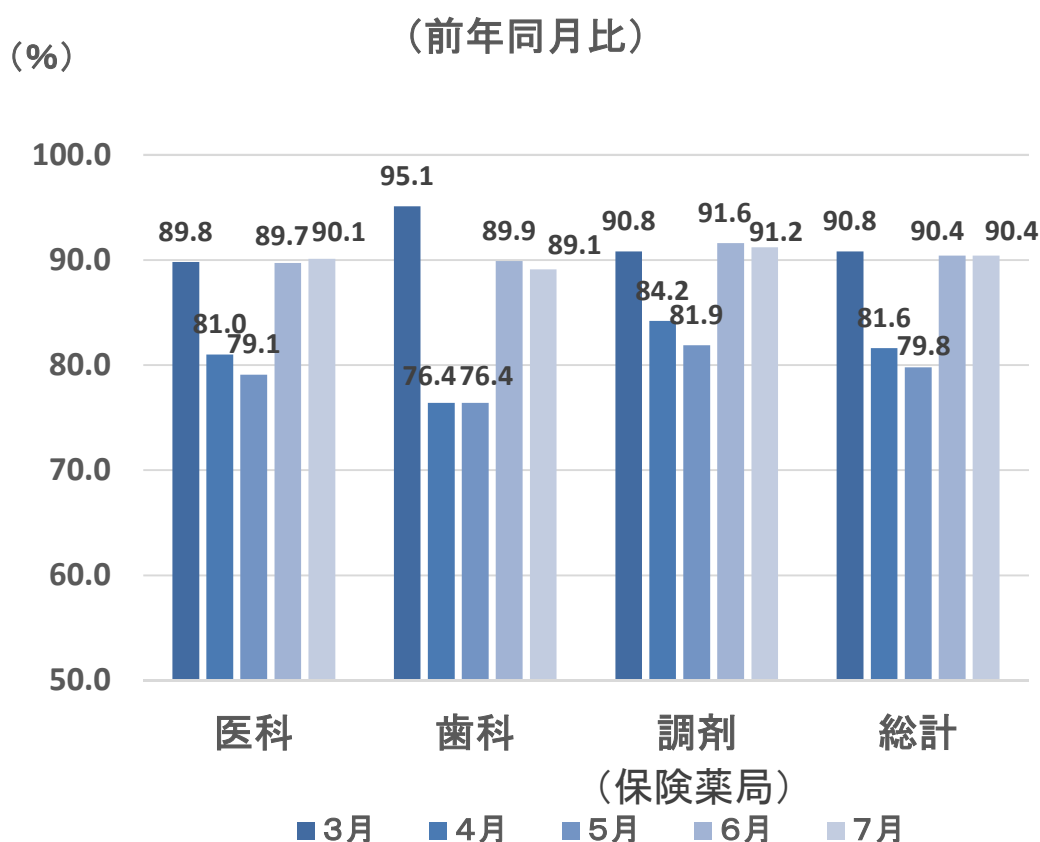
なお、総計及び公費については、医療保険計について重回帰分析した結果を用いて補正している。

# レセプト件数・点数に関する調査

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化①（診療種別別）

○ レセプト件数の前年、前々年同月比で見ると、4月以降、医科、歯科、調剤いずれにおいても、減少が見られるが、6月には下げ幅に回復がみられた。

## 診療種別別レセプト件数



※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定件数を基に、厚生労働省で前年同月比と前々年同月比を機械的に算出。

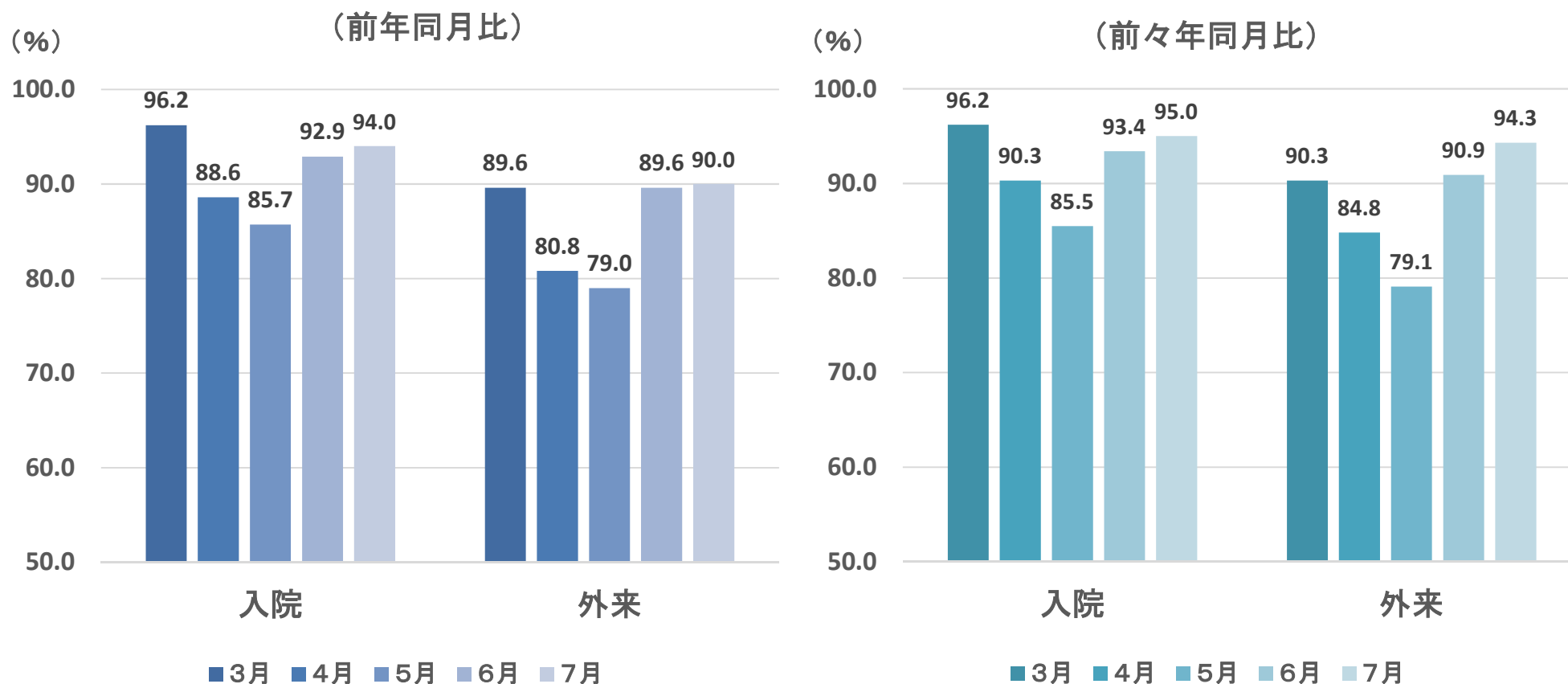
※2 総計には、訪問看護療養費が含まれる。



## 新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化②（医科のうち入院・外来別）

○ レセプト件数の前年、前々年同月比で見ると、入院、外来ともに減少しているが、外来の減少幅の方が大きい。双方とも6月には下げ幅に回復がみられた。

### 医科のうち入院・外来別レセプト件数

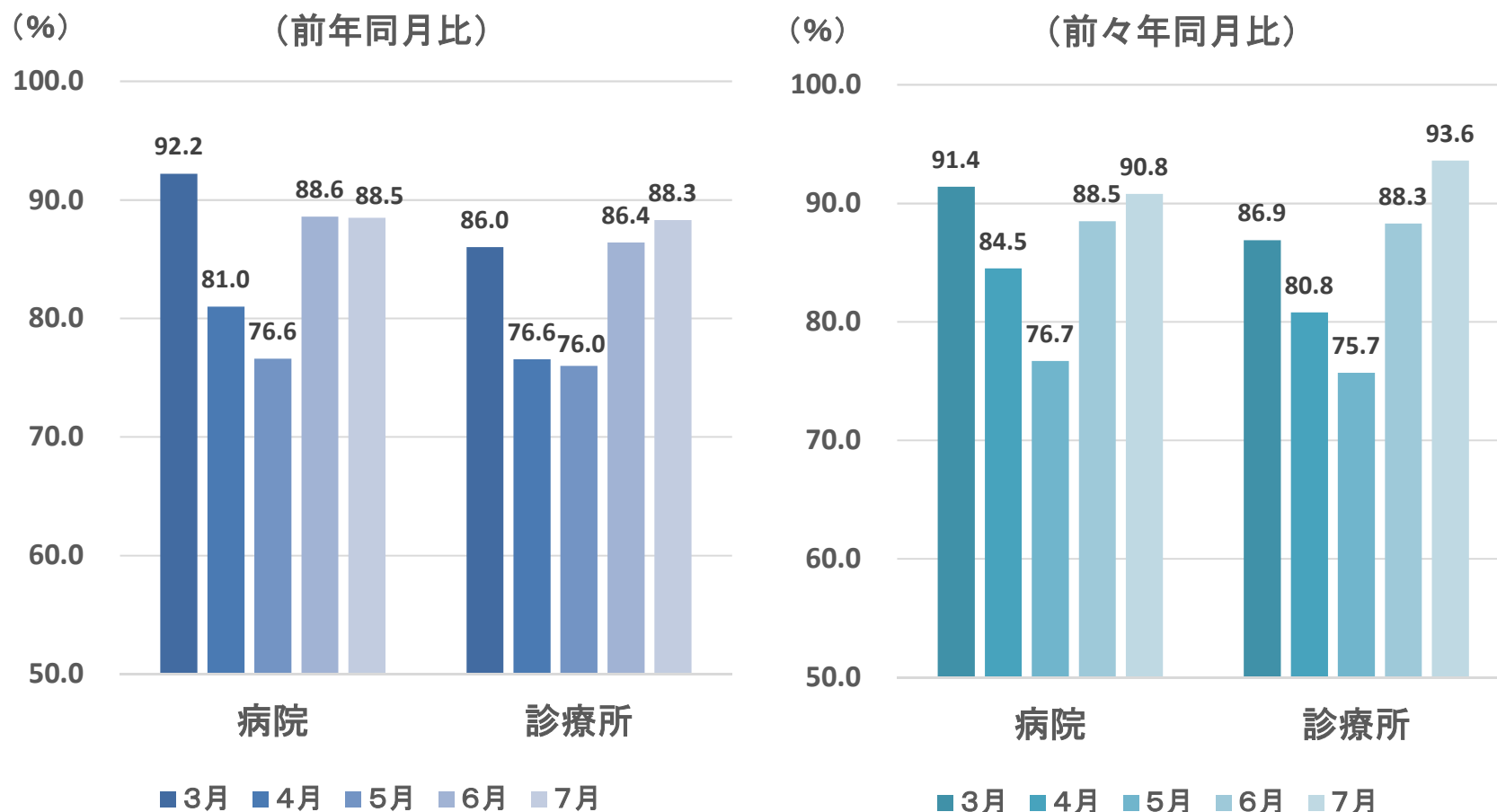


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定件数を基に、厚生労働省で前年同月比と前々年同月比を機械的に算出。

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化③（医科のうち病院・診療所別）

○ レセプト件数の前年、前々年同月比で見ると、3月以降、病院も診療所も減少しているが、6月には下げ幅に回復がみられた。

## 医科のうち病院・診療所別レセプト件数

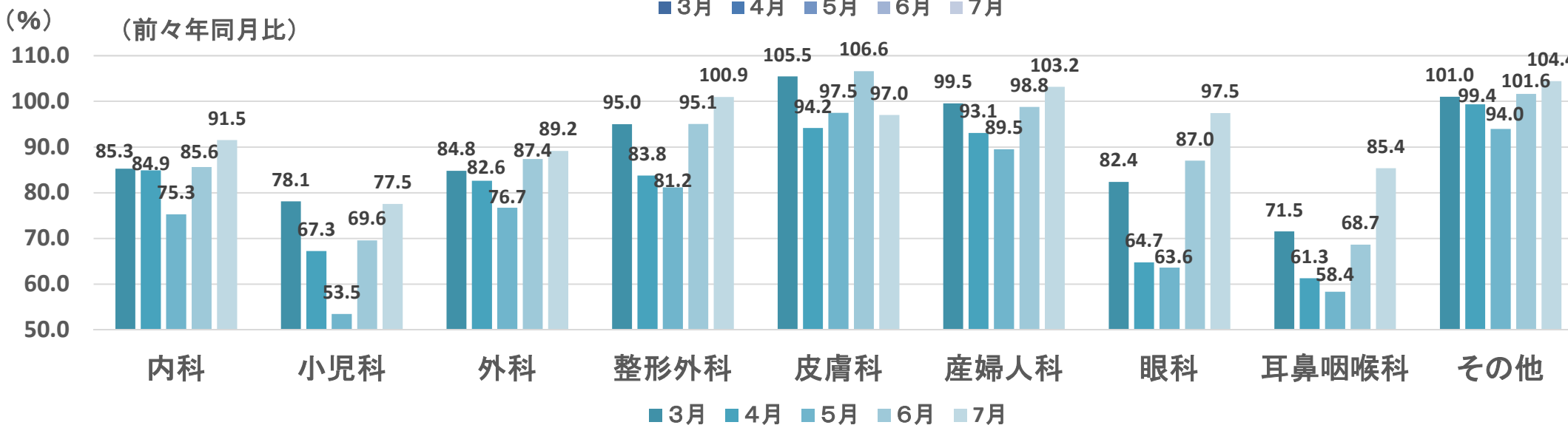
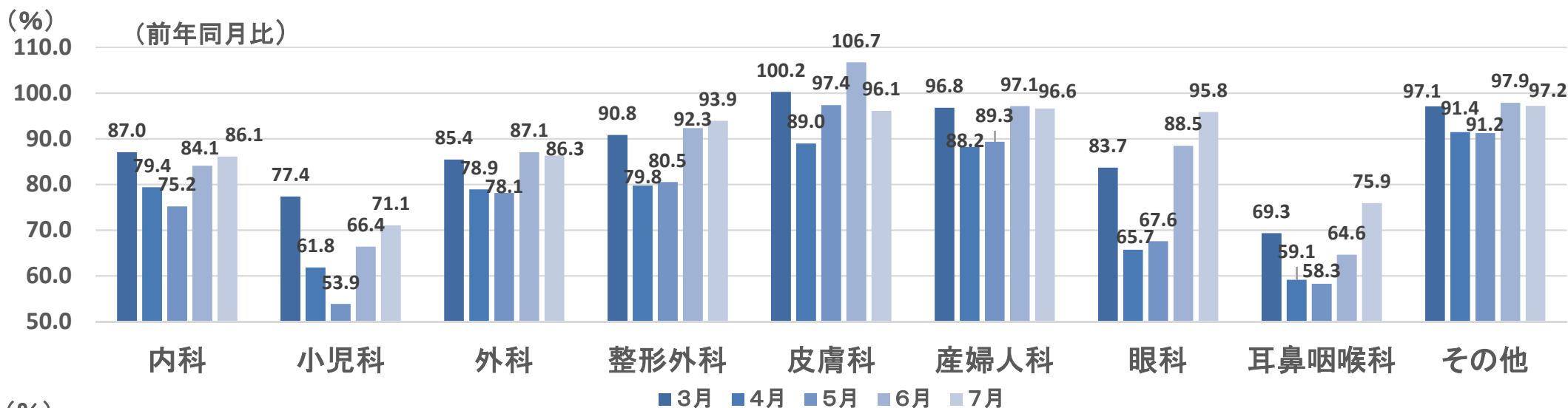


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報によるレセプト件数を基に、厚生労働省で前年同月比、前々年同月比を機械的に算出。  
 ※2 再審査等の調整前の数値。

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化④（医科診療所の診療科別）

○ レセプト件数の前年、前々年同月比で見ると、4月、5月は、いずれの診療科も減少しているが、小児科、耳鼻咽喉科の減少が顕著。6月には下げ幅に回復がみられたが、診療科ごとにバラツキがある。

医科診療所の診療科別レセプト件数

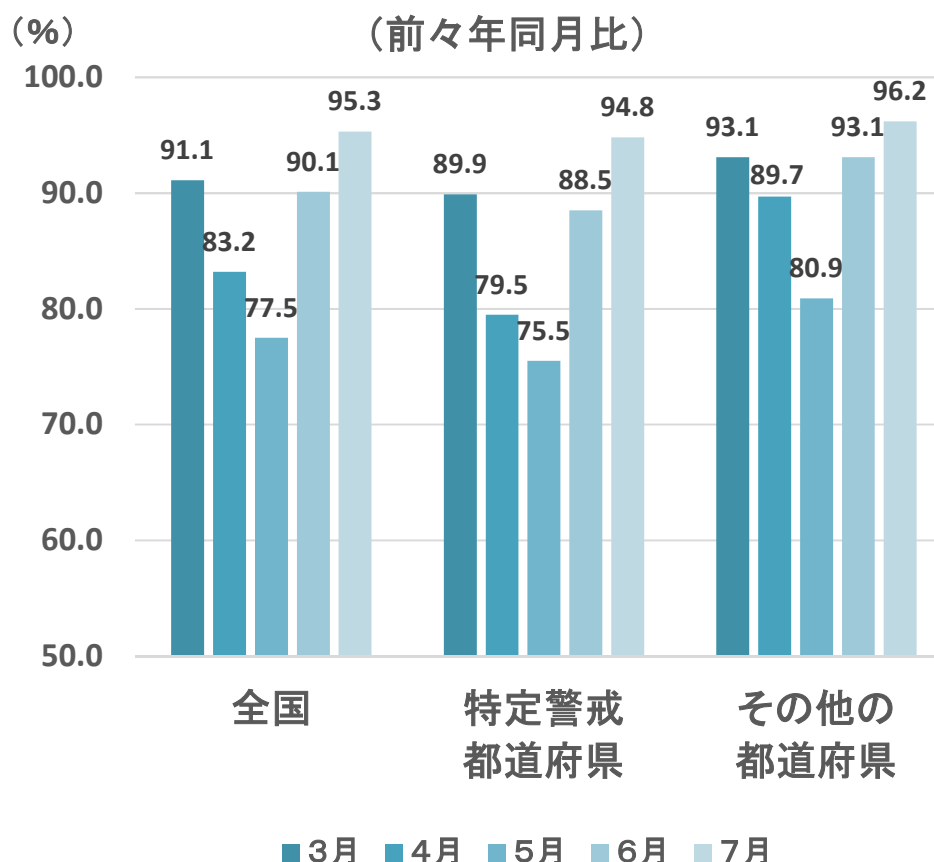
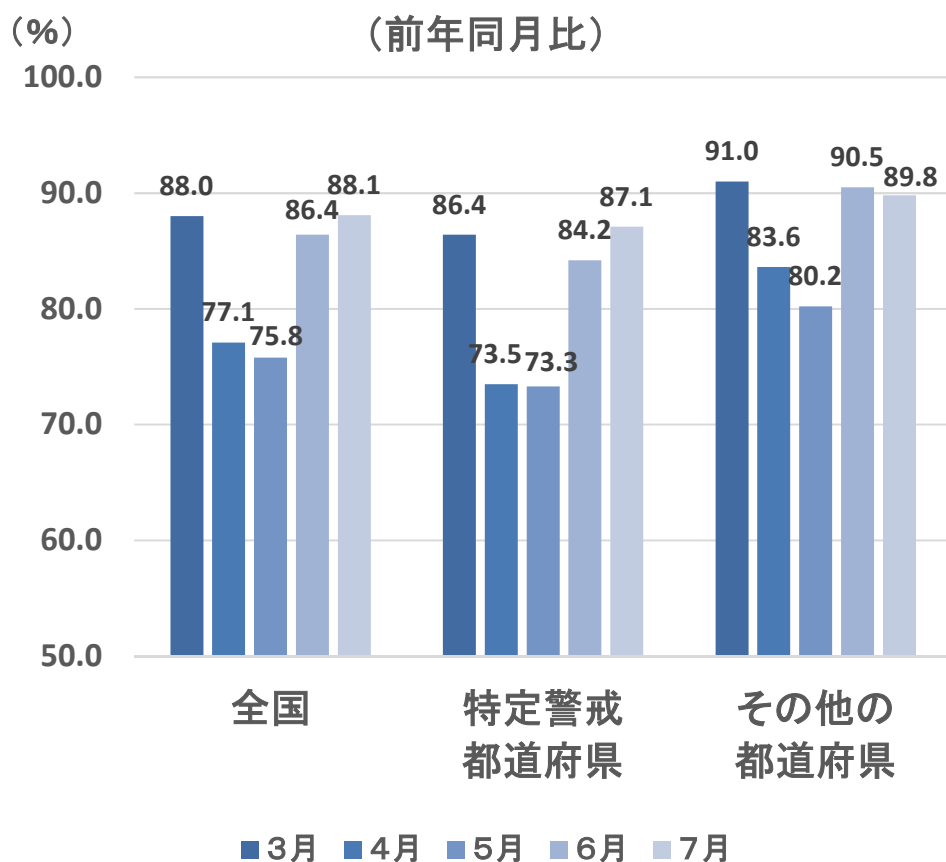


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報によるレセプト件数を基に、厚生労働省で前年同月比、前々年同月比を機械的に算出。  
 ※2 再審査等の調整前の数値。

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の患者数の変化⑤（地域別）

○ 地域別のレセプト件数の前年、前々年同月比で見ると、3月以降は、特定警戒都道府県の方が、減少幅が大きい。双方とも6月には下げ幅に回復がみられた。

## 地域別レセプト総件数

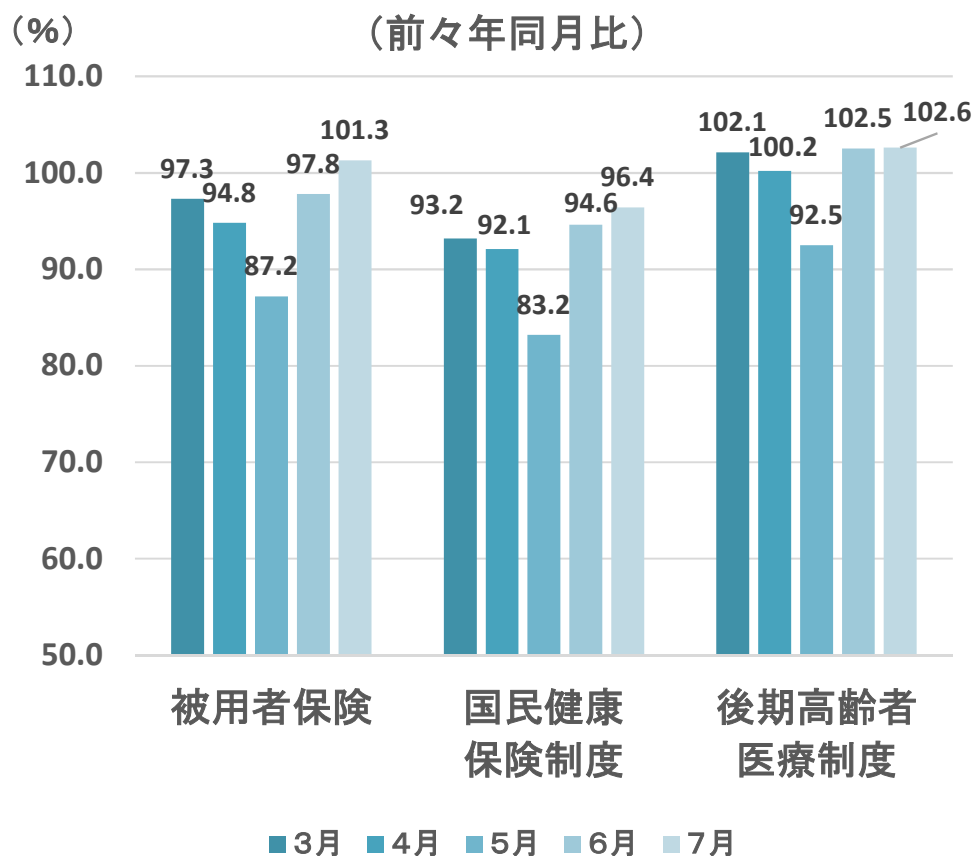
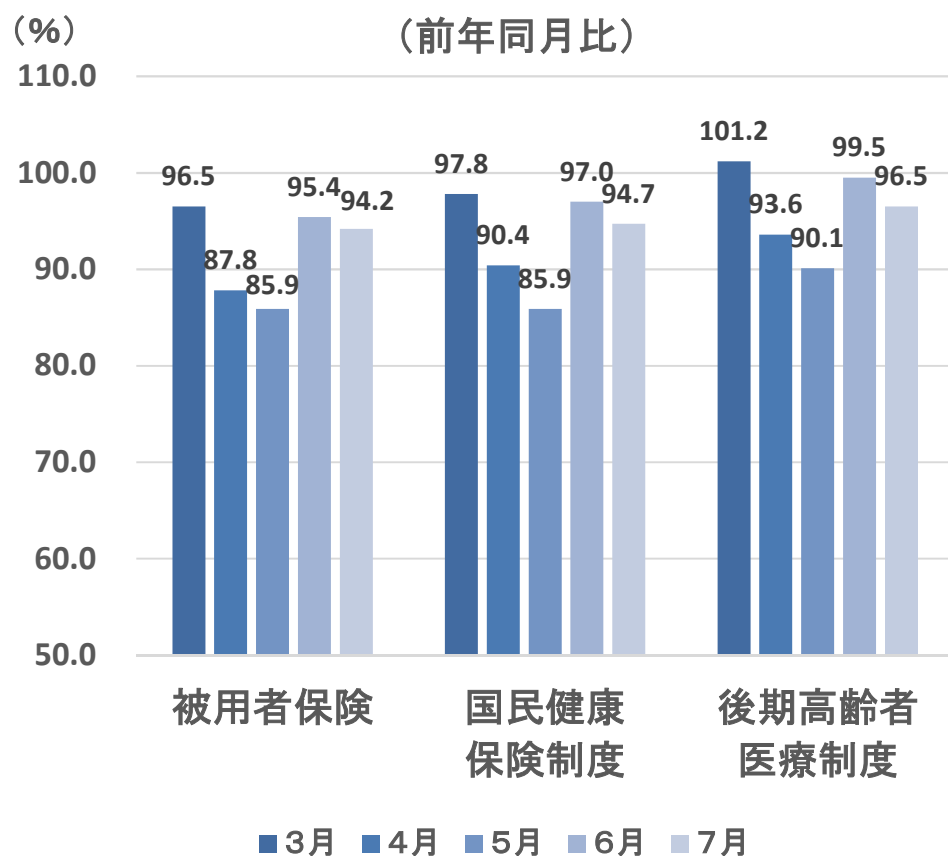


- ※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報によるレセプト件数を基に、厚生労働省で前年同月比と前々年同月比を機械的に算出。  
 ※2 特定警戒都道府県とは、4月16日に対策本部が、特に重点的に感染拡大防止の取組を進めていく必要があると位置づけた13の都道府県。  
 （北海道・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・岐阜・愛知・石川・京都・大阪・兵庫・福岡）

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化①（制度別）

○ 制度別にレセプト点数を前年、前々年同月比で見ると、後期高齢者医療制度の減少幅が相対的に小さい。  
 なお、いずれの制度においても前年同月比では、6月に減少幅が小さくなり、7月には減少幅が若干広がっている。

## 制度別レセプト総点数

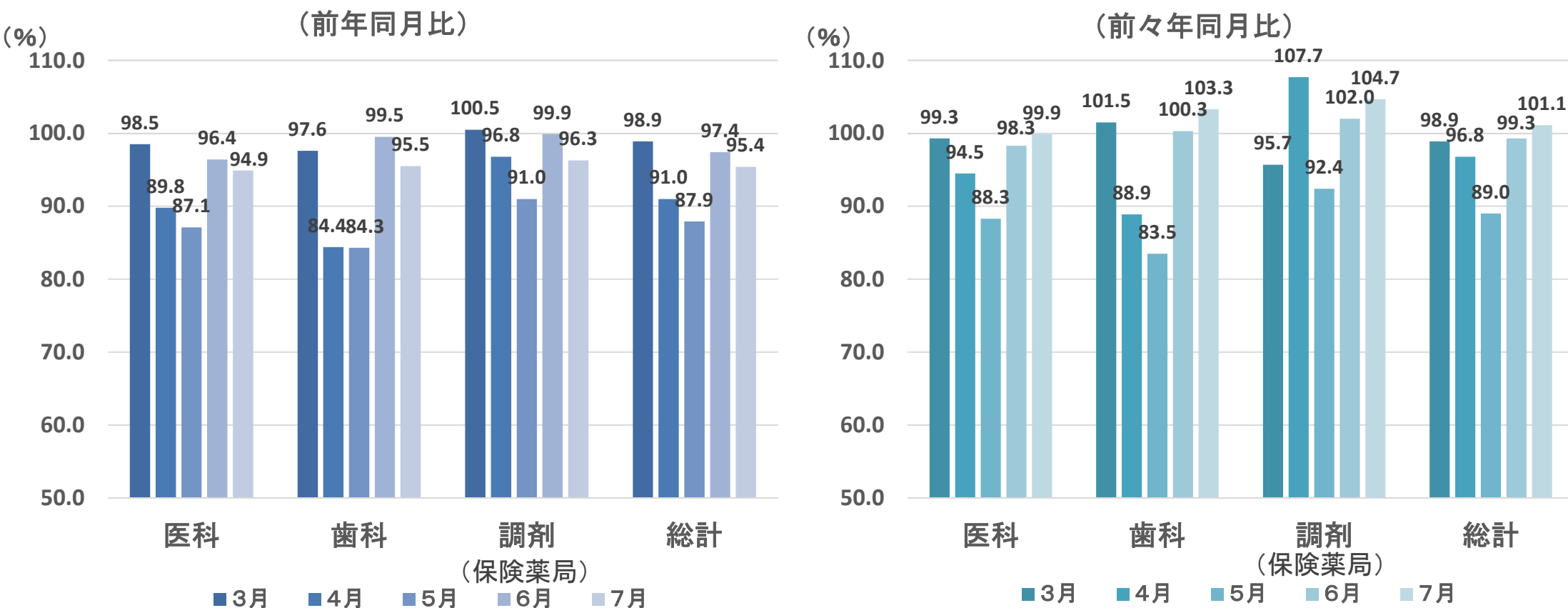


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定点数を基に、厚生労働省で前年同月比と前々年同月比を機械的に算出。

## 新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化②（診療種類別）

○ レセプト点数の前年、前々年同月比で見ると、4月は医科、歯科において減少が見られ、5月には調剤も含め更に減少している。6月には下げ幅に回復がみられた。

### 診療種類別総点数



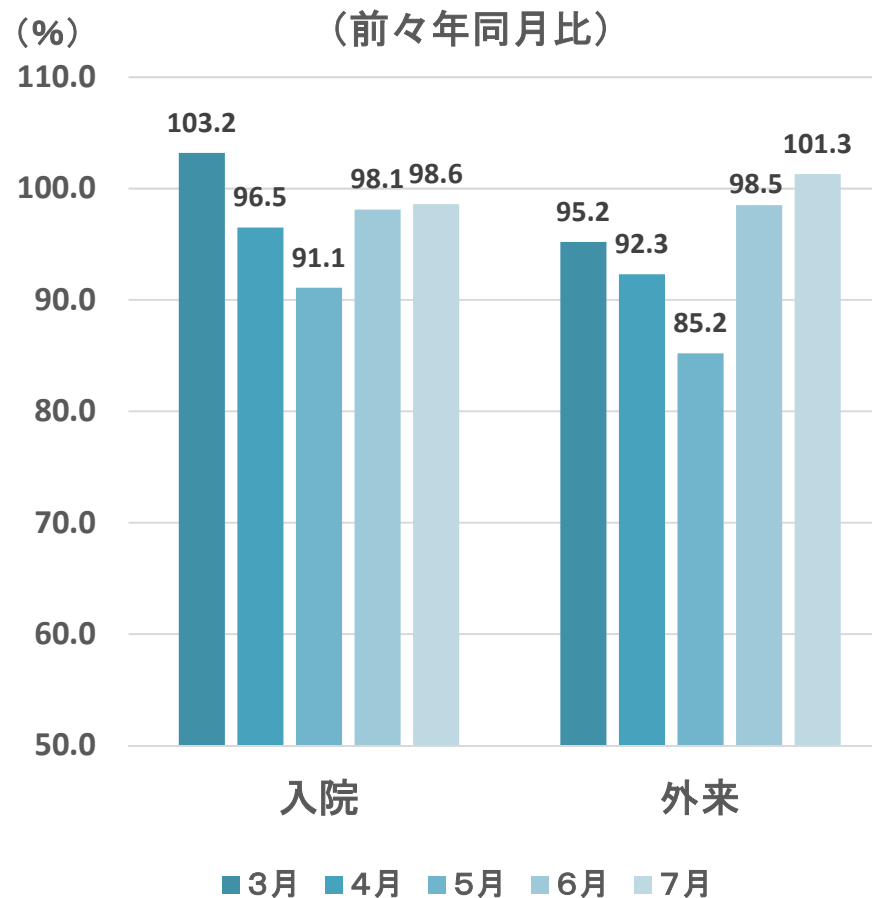
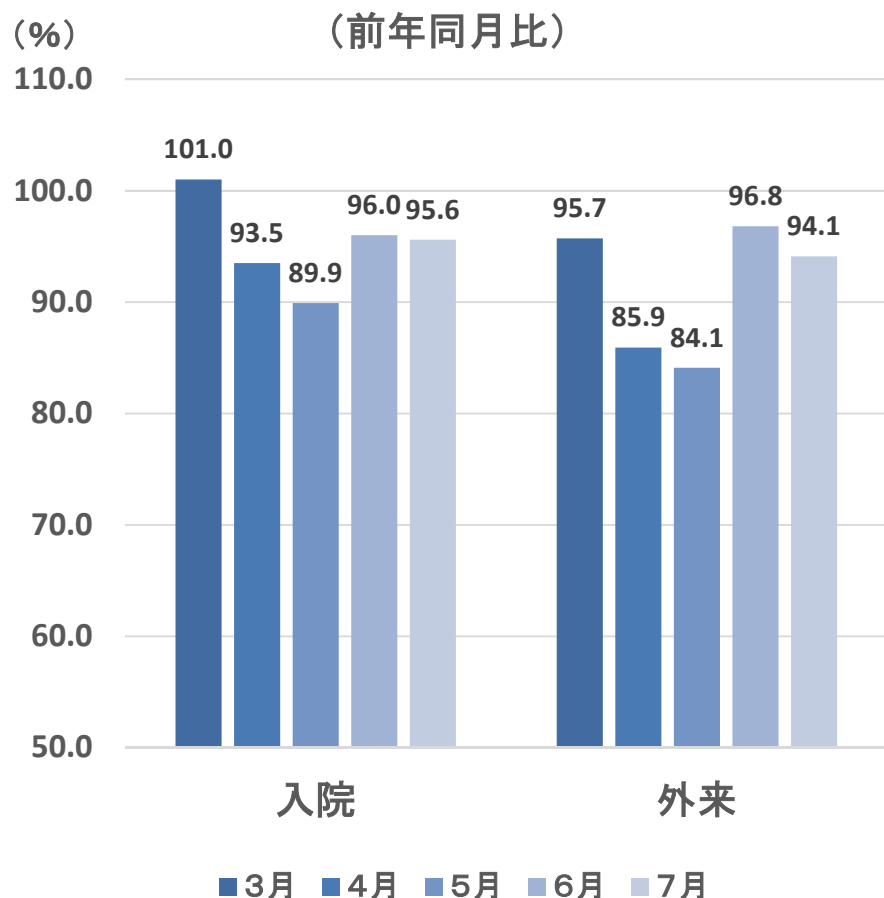
※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定点数を基に、厚生労働省で前年同月比と前々年同月比を機械的に算出。

※2 総計には、食事・生活療養費、訪問看護療養費が含まれる。

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化③（医科のうち入院・外来別）

○ レセプト点数の前年、前々年同月比で見ると、4月以降は、入院、外来ともに減少している。双方とも6月には下げ幅に回復がみられた。

## 医科のうち入院・外来別点数

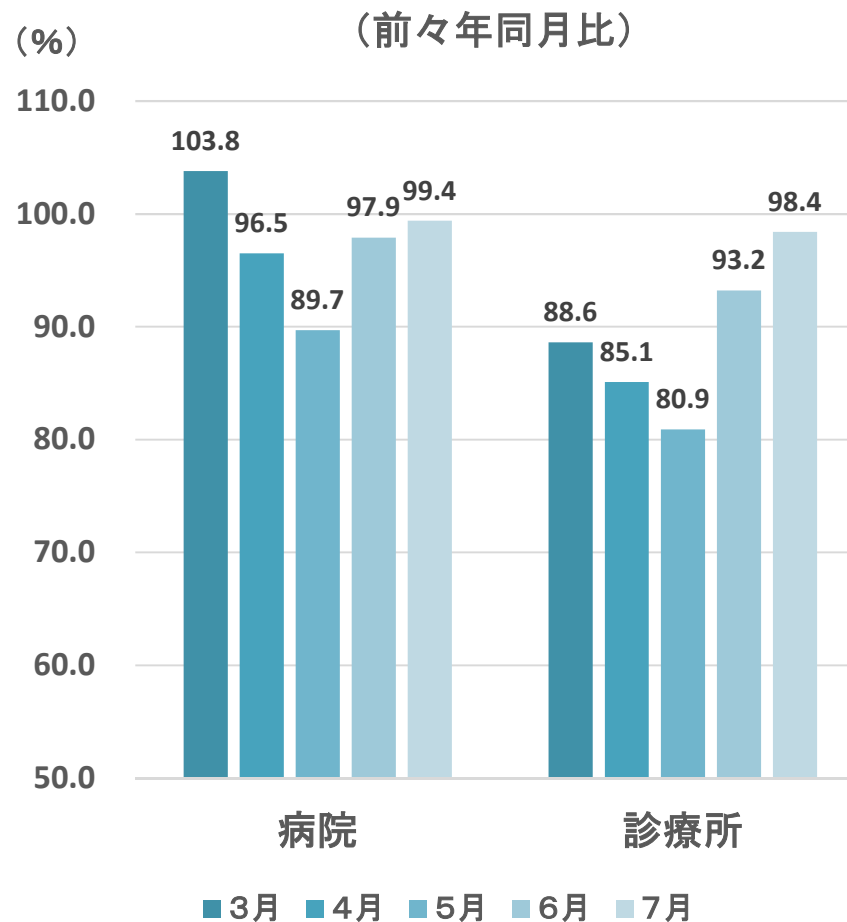
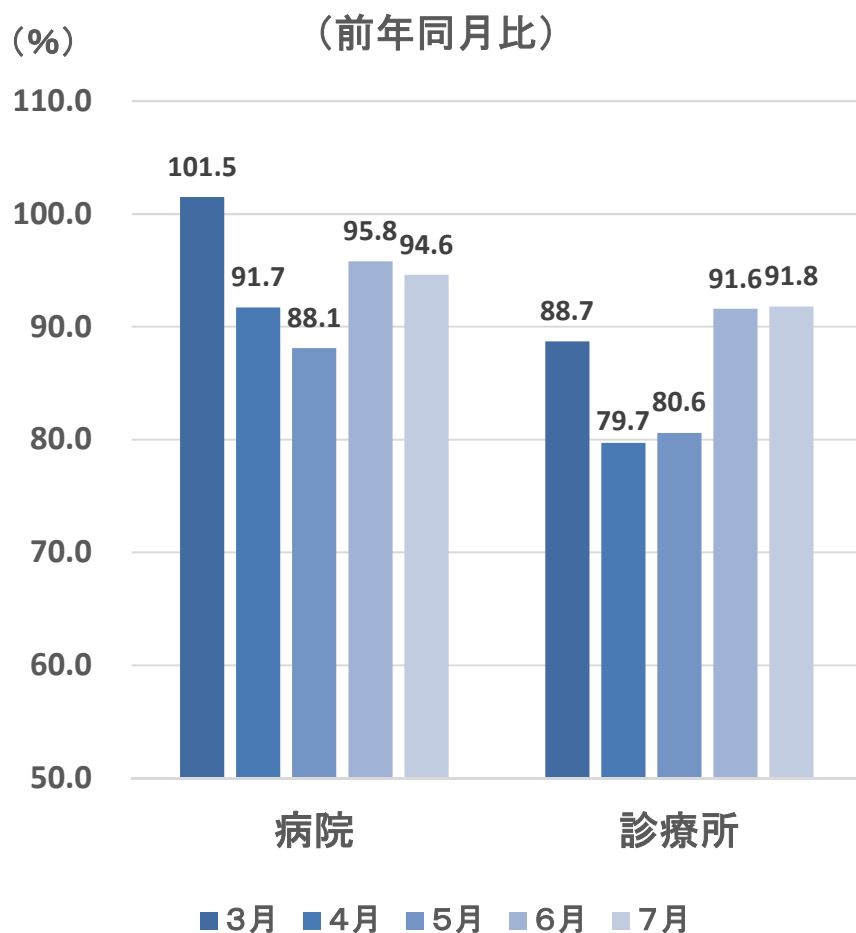


※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報及び国民健康保険中央会ホームページの国保連合会審査支払業務統計によるレセプトの確定点数を基に、厚生労働省で前年同月比と前々年同月比を機械的に算出。

# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化④（医科のうち病院・診療科別）

○ レセプト点数の前年、前々年同月比で見ると、4月以降は、病院も診療所も減少しているが、診療所の減少の方が大きい。双方とも6月には下げ幅に回復がみられた。

## 医科のうち病院・診療所別点数



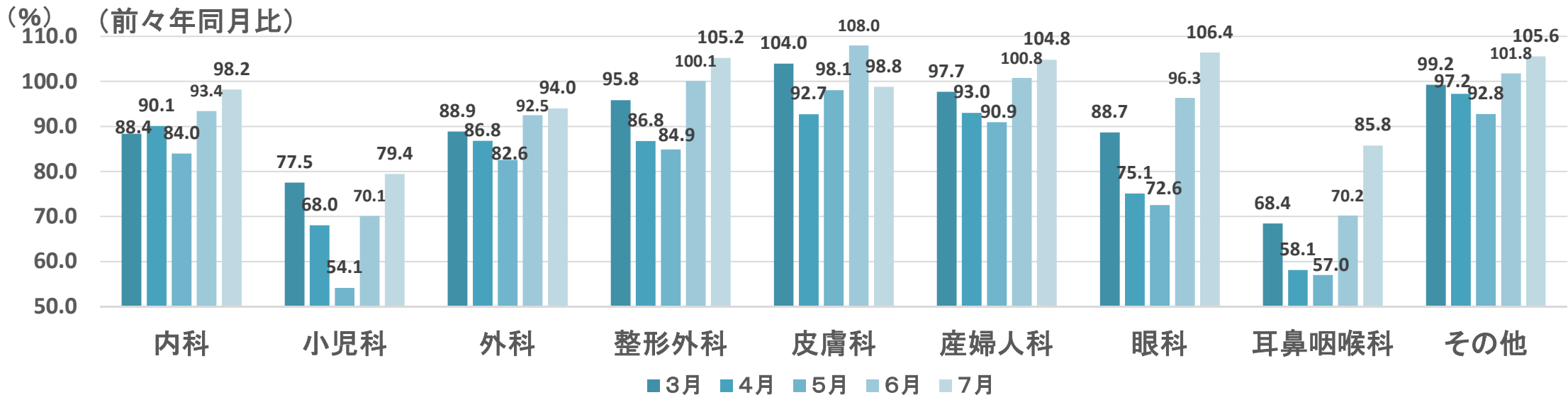
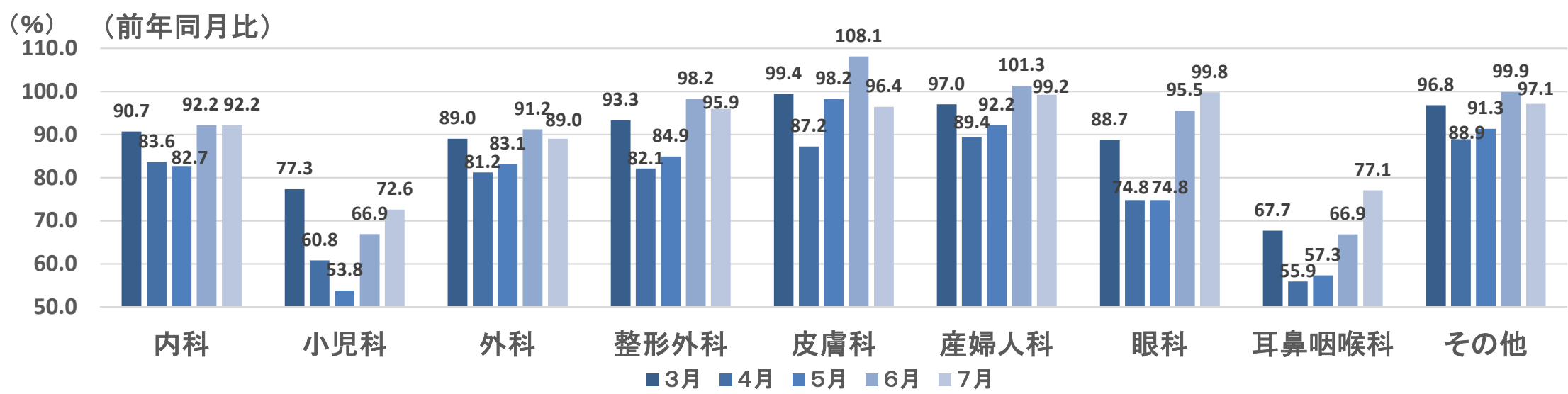
※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報による点数を基に、厚生労働省で前年同月比、前々年同月比を機械的に算出。  
 ※2 再審査等の調整前の数値。



# 新型コロナウイルス感染症による医療機関の収入の変化⑤ (医科診療所の診療科別)

○ レセプト点数の前年同月比、前々年同月比で見ると、4月以降は、いずれの診療科も減少しているが、耳鼻咽喉科、小児科の減少が顕著。6月には下げ幅に回復がみられたが、診療科ごとにバラツキがある。

医科診療所の診療科別レセプト点数



※1 社会保険診療報酬支払基金ホームページの統計月報による点数を基に、厚生労働省で前年同月比、前々年同月比を機械的に算出。  
 ※2 再審査等の調整前の数値。